教育方針及び学校教育目標

１．教育方針

公立学校の使命と教育の専門家として重要な職責を担っているという誇りと自覚をもち、これまで本校で実践されてきた教育活動を新たな視点で継承・充実させるとともに、明確なビジョンをもって教育活動を推進し、子どもも教職員も自らの成長を実感できる、元気で魅力ある学校をめざす。

＜一人一人を大切にする学校＞

児童、教職員それぞれがかけがえのない大切な存在であることを常に意識し、小規模校ならではのよさを生かした個に応じたきめ細かい指導・支援を行う。

＜地域の誇りとなる学校＞

室戸小学校との統廃合後も、地域にとって元小学校が誇りとなるよう、地域の思いを大切にし協働して最後の一年の学校経営を行う。

(1) 全教職員がチームとして協働し、組織的に目標の実現や課題の解決を図る。
(2) 関係機関等と連携し、個に応じた指導・支援、家庭支援を図る。
(3) ICT 機器を効果的に活用した授業、個に応じた学習指導を図る。
(4) 学校運営協議会を活用し、学校・家庭・地域が協働して教育活動に取り組む。
(5) 自然災害や事故、犯罪等から命を守る安全教育の充実を図る。

２．学校教育目標

「共に学び、認め合い、未来に向かって生きる子どもの育成」

自分や友達を大切にし、自ら学び、助け合い、夢に向かって努力する子どもの育成をめざす。

３．めざす児童像

自ら考え、 共に学び合う子（知）	思いやりの心をもち、 助け合う子（徳）	進んで体を鍛え、 命を大切にする子（体）
○自ら学ぶ意欲を高め、他者との関わり合いを通して、主体的に学ぼうとしている。 ○自分の意見や考えを持ち、表現することができる。 ○基礎学力を身に付けている。	○他者を思いやり、誰とでも仲よくできる。 ○自他の違いを認め合い、相手の立場に立って助け合うことができる。 ○進んで挨拶し、感謝の言葉を伝えることができる。	○進んで体力づくりに取り組むことができる。 ○命の大切さが分かり、自分で考えて安全な行動をとることができる。 ○基本的生活習慣を身に付け、規則正しい生活を送ることができる。

４．めざす学校像

「２１世紀を担う人間性豊かで、社会の変化に主体的に対応できる児童の育成」に向けて、「子どもの成長を願い、家庭・地域と協働する学校」をめざす。

「子どもの成長を願い、家庭・地域と協働する学校」

・子どもが「通って楽しい」学校
・保護者が「通わせて安心な」学校
・教職員が「働きがいのある」学校
・統廃合後も「地域の誇りとなる」学校

(1) 組織として機能する学校　― チーム学校をめざして ―
○ ＰＤＣＡが機能する効果的な教育活動を展開する。
○ 学校全体の目標と学級・個人の目標との整合性を図り、ベクトルを合わせた教育活動を展開する。
○ 報告・連絡・相談を徹底する。

(2) 豊かな感性と学力を育む活力ある学校
○「R6 元小授業スタンダード」に基づいた授業づくりを通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。
○ 個に応じた教育活動を行う。
（ICT の活用、個に応じた手立て、一人学級における学習形態の工夫）
○ 道徳教育を推進する。
○ 地域人材等を積極的に活用し、体験活動を充実させる。
○ キャリア教育を推進する。
○ 教職員研修を充実させる。

(3) 学び合いのある学校
○ 互いに切磋琢磨し、児童も教職員もともに向上心をもつ。

(4) 家庭・地域と協働する学校　― より確かな絆を ―
○ 地域の環境や教育ボランティアの積極的な活用を図り、体験的な活動を進める。
○ 保護者や地域の人たちと心が通い合う学校づくりを進める。

(5) 安全で安心な学校　― 子どもに目を向け、子どもが安心できる学校 ―
○ 全教職員が危機管理意識をもち、適切な行動がとれるようにする。
○ 日常のけがや事故に対して、校内での連絡・報告や家庭への適切な対応を行う。
○ 健康・安全教育を徹底し、命の大切さや健康の保持・増進、事故防止の能力及び態度の育成に努める。

(6) 挨拶が広がり、温かな言葉を実感し合える学校
○「あいさつ運動」を推進する。
○適切な言葉づかいや場に応じたコミュニケーションができるようにする。

(7) 信頼される開かれた学校
○教員としての職責の重要性を自覚し、自らを律し高め、研修・研鑽に努める。
○服務規律の遵守に努める。
○定期的に学校評価を行い、学校改善に努める。

５．めざす教師像

「子どもの笑顔のために、前向きに取り組む教師」

(1) 子どもの立場で、物事を見ることができる教師
(2) 子どもの個性や能力を見つけ、伸ばそうとする教師
(3) 向上心をもち、自己の力を伸ばそうとする教師

６．重点目標

(1) 自主的に学ぶ子どもを育てるために、学習指導の手立ての工夫を図り、子どもの意欲・能力の伸長に努める。
(2) 集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする態度を育てる。
(3) 道徳的価値への理解と感得を深め、道徳的実践力を育てる。
(4) 人権についての認識と理解を深め、人権教育のより一層の充実を図る。
(5) 教育環境を整備し、学習や生活を通して、潤いのある情操豊かな子どもを育てる。
(6) 命の大切さや環境について考える児童を育てる。
(7) 健康の増進と体力の向上を図り、心身ともに健康な子どもを育てる。
(8) 学校防災の視点から、様々な想定で避難訓練や安全教育を行うことで、児童の危機対応力を高める。
(9) 家庭・地域との連携を密にした教育の推進に努める。
(10) 保小・小小・小中の連携を深め、スムーズな接続を図る。

７．令和６年度 学校経営計画（短期計画）

	目標　＜到達指標＞	具体的な取組
確かな学力	①高知県学力定着状況調査において、国語（知・技)、算数の正答率が目標値同等となっている。 ②教職員が授業づくりや個別学習、家庭学習で効果的に ICT を活用している。	①「R6 元小授業スタンダード」に基づいた授業づくりの推進 ②ＩＣＴ効果的に活用した授業及び家庭学習（授業外学習）の推進
健やかな体	①高知県体力・運動能力、生活実態等調査において、体力合計点が県平均を上回っている。 ②基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）が定着している。	①高知県体力・運動能力調査の結果分析及び「こうちの子ども体力・運動能力向上プログラム」に基づく体力向上の取組推進 ②学期に１回の生活リズム調査（１週間）の実施・分析及び改善に向けた取組の推進
豊かな心	①道徳意識調査の「自分にはよいところがあると思う」「将来の夢や目標をもっている」の項目で肯定的に回答している。	①「考え、議論する道徳」を目指した授業づくりの推進
基盤となる体制等	①学校生活アンケートの「学校に行くのは楽しい」の項目で肯定的に回答している。 ②教職員の時間外在校等時間を月 60 時間以内に抑える。 ③児童が災害や危険から自ら命を守りきるために必要な知識・技能を身に付け、それを確認できる授業や訓練が実施できている。 ④保小の教職員が、子供の育ちを中心に据えた対話（連絡会・研修）を通して、相互理解や実践を深めている。	①室戸中学校区で連携した「魅力ある学校づくり（不登校未然防止)」の取組推進 ②校務支援システムを活用した勤務時間管理の徹底及び業務負担軽減のための面談実施 ③家庭や地域、関係機関等と連携・協働した学校安全の取組の充実 ④元保育所との定期的な情報交換及びねらいを明確にした交流活動の実施
不祥事防止等	①計画的に服務研修を実施し、不祥事チェックリストを活用している。	①教職員個々のコンプライアンス意識の醸成（計画的な服務研修の実施及び不祥事チェックリストによる確認）